

第34号

社協だより

発行日：平成25年5月24日
発行所：社会福祉法人喜界町社会福祉協議会
〒891-6201
喜界町赤連22番地（老人福祉センター内）
TEL 65-0887・0449

平成25年度 喜界町社会福祉協議会 事業計画

平成25年度の予算、事業計画を審議する理事会及び評議員会が3月29日に開催され本年度の事業計画が決定されました。厳しい経済状況の中ですが、各方面のご協力の下全力で取り組んでいきます。

基本方針

社会構造や家族形態の変化に伴い、「新たな貧困」や地域住民同士のつながりの希薄化など、現代社会の抱える問題はますます深刻化しています。これらの社会変化に伴って、従来の福祉制度・施策では対応しづらい様々な地域課題が生じており、「地域包括ケアシステム」や「新しい公共」などの提言では、住民の参加やNPO法人など幅広い関係機関・団体等による取り組みの重要性が指摘されています。

こうした中で、元来住民主体による地域福祉を推進している社協が果たしていくべき役割はますます重要性を増し、実効性のある活動展開が求められています。本会は平成25年度事業計画においては、介護保険法や障害者を総合的に支援することを目的とする法律施行に伴う制度改正への柔軟な対応を図るとともに下記の重点目標を積極的に推進する。

- (1) 保健福祉ネットワークシステムの充実
- (2) 暮らし安心・地域支え合い推進事業への取組
- (3) 地域福祉活動計画の策定
- (4) 小規模多機能型居宅介護事業所の開設

主な事業

地域福祉活動

保健福祉ネットワーク
ボランティア講座
車いす等の貸出
いきいきサロン開催
住民座談会・地区連絡会
心配ごと相談所
生活福祉資金貸付

障害福祉サービス事業

居宅介護事業
相談支援事業

介護（予防）保険事業

訪問介護事業
訪問入浴介護事業
福祉用具貸与・販売事業
居宅介護支援事業
小規模多機能型居宅介護事業

権利擁護事業

福祉サービス利用支援事業
金銭管理・書類預かり

共同募金事業

日本赤十字社業務



平成25年度一般会計収支予算書

収入

(単位：千円)

支出

(単位：千円)

科 目	金 額
会 費 収 入	840
寄 付 金 収 入	1,500
経常経費補助金収入	33,000
助 成 金 収 入	71
受 託 金 収 入	9,569
事 業 収 入	2,431
貸付事業等収入	100
共同募金配分金収入	866
介 護 保 険 収 入	97,820
自立支援費等収入	1,977
雑 収 入	140
受取利息配当金収入	70
経理区分間繰入金収入	34,373
積立預金取崩収入	5,000
収 入 合 計	187,757

科 目	金 額
人 件 費 支 出	81,276
事 務 費 支 出	6,370
事 業 費 支 出	19,447
貸付事業等支出	100
共同募金配分事業費	415
助 成 金 支 出	90
負 担 金 支 出	270
借入金利息支出	108
経理区分間繰入金支出	33,420
固定資産取得支出 及び繰入金支出	38,947
借入金元金償還金支出	1,080
そ の 他 の 支 出	3,580
流動資産評価減等 による資金減少額等	30
予 備 費	2,624
支 出 合 計	187,757

十五夜木



坂嶺小学校跡地に小規模多機能ホーム

平成25年8月1日に坂嶺小学校跡地に小規模多機能ホーム「十五夜」を開設予定です。

小規模多機能ホームとは・・・通いを中心に、ご本人の容態や希望に応じて「宿泊」「訪問」といったサービスを組み合わせて「自宅で継続して生活するために」24時間・365日、必要な支援を行います。

- 通い
 - ・一人ひとりに合わせて時間も曜日もオーダーメイド
 - ・必要なとき、必要な時間帯に利用できる
 - ・緊急時にも臨機応変に対応
- 宿泊
 - ・本当に必要な時に利用できる
 - ・顔馴染みの職員や利用者と共に泊まれる
 - ・通いなれた場所で宿泊可能
 - ・突然の泊りに対応
- 訪問
 - ・回数も時間も内容も一人ひとり異なる
 - ・緊急時にも柔軟に対応
 - ・必要な時に必要なサービスが受けられる

<利用定員>

登録定員 25名（通いサービス定員12名、宿泊サービス定員5名）

通いサービス（ディサービス）9：00～17：00

※時間については柔軟に対応します。



<ご利用ができる方>

介護認定を受けた方（要介護1～要介護5の方）

要介護度	利用料/月
要介護1	11,430円
要介護2	16,325円
要介護3	23,286円
要介護4	25,597円
要介護5	28,120円

その他の費用・・・朝食：200円

昼食：350円

夕食：350円

宿泊費：1泊2,000円

オムツ代：実費

※職員の配置等により加算があります。

★利用者さんの募集を始めています。
詳しい内容等はお問い合わせ下さい★
小規模多機能ホーム開設準備室
（担当：向・田畑）
TEL 65-4449・65-0889





3月7日(木)「第2回ボランティア講座」を開催し、約70名の方が受講されました。講座は、日本赤十字社鹿児島県支部事業推進課長(大山 大宏氏)と看護師(砂原 加津代氏)を招いて、「炊飯袋を用いた非常炊き出し訓練」と「災害時高齢者生活支援」について研修しました。知って役立つ技術では身近な物(毛布や風呂敷等)を活用して応急手当法や避難所での援助について学び、災害時のボランティア活動に関わる知識を習得しました。

なお、非常炊き出し訓練を各集落で企画する際には器具の貸出等のお手伝いをしますので、担当栄・高橋までご連絡下さい。

いきいきサロンは4月からは20集落で毎月1回(羽里・山田は2ヶ月に1回)実施されています。新たな指導員として田中 静子さんと安村 美奈子さんが加わり現在3組で活動しています。

※65歳以上の参加者やボランティアには、高齢者元気度アップポイントが付与されますので、皆さん誘いあってご参加をお願いします。



2月22日、前金久集落保健福祉ネットワーク連絡会を開催しました。従来地女連(地域女性団体連絡協議会)を中心に見守り活動を進めてきましたが、地域全体で活動できないかと声があがり、60才~70才代の方にも協力を呼びかけたところ、協力員・在宅福祉アドバイザーとして参加頂けることとなりました。

4月14日に開催された「第2回東日本大震災被災地支援チャリティーショー」喜界町文化協会主催(外内 千里会長)の益金が義援金として109,417円が寄せられました。社協に設置した義援金7,050円と合わせた116,467円を日本赤十字社鹿児島県支部に送金いたしました。ご協力ありがとうございました。引き続き社協に義援金箱を設置しています。

また、「中国四川省地震救援金」を社協と役場ロビーに5月8日~7月22日までの間、受け付けてますので、皆様のご協力をお願いいたします。



たかはし のぶや
3月から事務局に入りました、坂嶺集落の「高橋 伸弥」です。主に福祉用具専門相談員と福祉サービス利用支援員として業務にあたっています。地域に密着した福祉活動に励みたいと思っています。今後ともご指導、宜しくお願ひいたします。

4月からケアマネジャーとして働かせて頂いております、荒木出身の「盛澤 健太」です。高齢者の方々が住み慣れた自宅で安心して生活していけるようお手伝いさせていただきます。

困ったことがあれば、気軽に声を掛けて下さい。



この広報誌は、赤い羽根共同募金の配分金が活用されています。